

サークル紹介

レッツ エンジョイ サークル ELC

法学部学生 小林 靖 幸



Hello!! 我々は“ELC”すなわち英語研究会であります。英語というとみんな「なんだかまじだなあ」とか「大学に来てまで英語なんてやってられないわよ」とか言う人もいるでしょうが、ぜんぜんそうではなく、簡単な日常英語を身に付け、外国人（英語圏の）に会っても「えっと」とか「あ、あいきゃんすぴーくいんぐりっしゅ」とかいうふうにもじもじしなくてすまそうじゃないかというごく簡単なものです。

それから、大学生なら好きそうなテニス、ピクニック、ゴルフ（ゴルフといっても女の子でも、プレーすることができるショート・コース）などもやってるし、去年は、秋休みに男女そろって、海の向こう、松山の道後温泉へ行き、いい湯につかり、おいしいものを食べ、車でドライブしたりという楽しい秋休みを送りました。

最後に、現在、みなさんご承知の通り、西条移転のため、本部の人数が減少しています。そこで気力あふれる1、2年生にぜひとも入っていただきたい。我々のELCを君たちの力で盛り上げていって下されば幸いです。ELC一同、お待ちしております。

求めているものとの出会い

—広島大学ギタークラブ—

経済学部学生 太田 順 二



コツコツと足音が鳴り響く。4コマ目も終わって人もまばらな総科のロビー。そこでふと自分の足音に混ざる懐かしくもあり、また漸新な音色が聞こえる。「なんだろう。」踵を返して音色に誘われるままに106号教室に行く。無意識にドアを開けると、そこには一面“桃源境”を思わせる世界が広がった。あまりのまばゆさにしばらく眼が開けられない。やがて少しずつ水晶体を通じて入ってくる光景こそが彼の十数年求めているものかもしれない。

「ギターには興味あるのかな？へえー初心者なの。ギタークラブはほとんどがギター初心者ばかりなんだよ、ハハハ。」

実に快活な部長の笑い声が彼の緊張をまたたく間に溶かした。

「このクラブこそ大事を成すに事足りる。」
彼はおぼろげながらそう感じた。

彼らの演奏を聴く。確かに初心者なのだろう。演奏はまず緊張で震えている。しかし、その緊張を通じて感じとられる何かが彼らにはある。

「ハハハ、それはね、ギターに対する愛情だよ。」
後頭部をキリでさされたような鋭い痛みがはした。彼はふるえるのを抑え、やっと一声出した。

「入部します。」